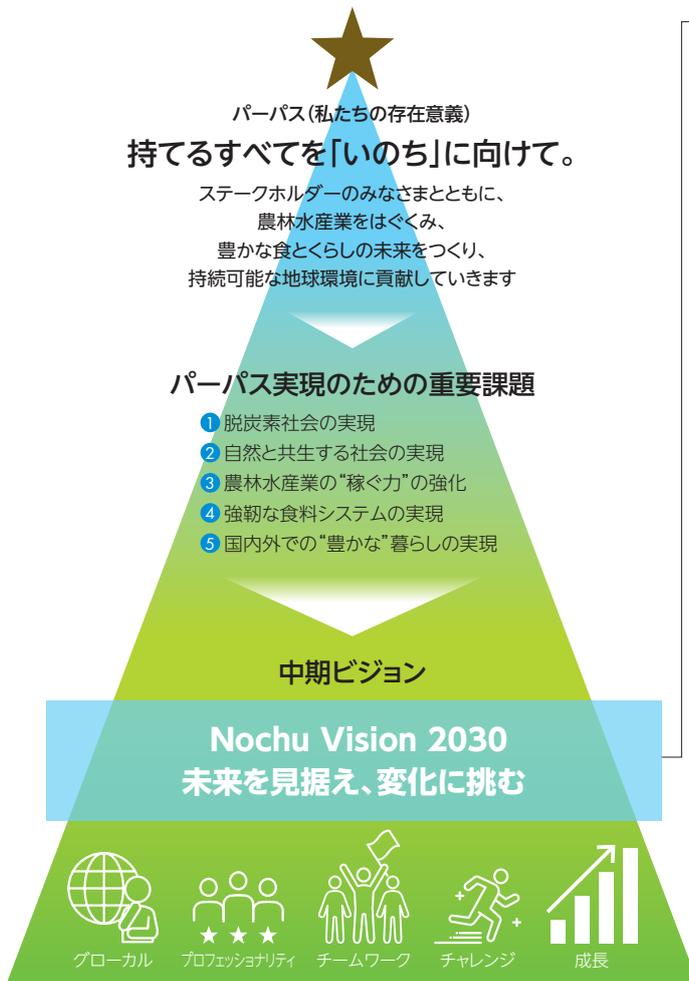


中期ビジョン(Nochu Vision 2030 ～未来を見据え、変化に挑む～)



中期ビジョン策定にあたっての背景

当金庫は、2024～2030年度を期間とする中期ビジョン「Nochu Vision 2030～未来を見据え、変化に挑む～」を策定しました。

ここ数年、サステナブルな社会への意識の高まり、AI等のテクノロジーの発展、世界的なインフレの進行とそれに対する急速な金融引き締めなど、予測出来ないことが多々起こってきました。そして、これからも農林中金グループを取り巻く事業環境は複雑かつ加速度的に変化していくと考えています。

このような見通しのもと、農林中金グループ一丸となってパーパスを実現・発揮していくためには、数年先の変化を正確に予測し精緻な計画を立てるのではなく、農林中金グループが中期的に“ありたい姿”を定め、その“ありたい姿”に向かって外部環境の変化に柔軟かつ機動的に対応していく経営が重要だと考えています。

そこで今回、当金庫は中期ビジョンを策定することとし、少し先の未来として2030年をターゲットに、想定される環境・社会の変化からバックキャストして、農林中金グループの“ありたい姿”を以下のとおり5つ決めました。この“ありたい姿”を経営の羅針盤に位置づけるとともに、その実現に向けて、毎年の取組事項を策定しながら事業運営にあたってまいります。

2030年のありたい姿

- 

地球環境・社会・経済へのインパクト創出

協同組織と金融の力で、持続可能な環境・社会・経済の実現に向けて、ポジティブインパクトを創出し続けていきたい
- 

農林水産業・地域の持続的な発展

食と農林水産業のファーストコールバンクとして、ITデジタルを活用したデータビジネスの展開や新たな食農バリューチェーンの構築等により、更なる付加価値を提供し、農林水産業者や系統団体の持続的な発展を実現したい
- 

デジタルとリアルの最適融合による組合員・利用者への価値創造

系統金融機関ならではのデジタルとリアルとの融合、その最適解を追求することで、JA・JFが更なる金融仲介機能、総合事業者としての強みを発揮し、組合員・利用者の皆さまに感動いただける価値を創造し続けていきたい
- 

会員への安定的な収益・機能還元の実現

農林中金グループが一体となって、変化の激しい市場環境や顧客・取引先のニーズに柔軟に対応するとともに、新しい領域・分野に挑戦し、持続的な財務・収益基盤を構築・維持することで、会員からの安定的な収益・機能還元に関する期待に応え続けたい
- 

変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現

多様な思考を持った人材が相互に学びあいながら専門性を高めるとともに、ITデジタル・データ利活用が浸透したオープンマインドな企業カルチャーのもと変化にチャレンジし続けることで、柔軟で強靱な組織を実現したい

2030年のありたい姿を実現するための主な取組み

ありたい姿	主な取組み	取組主体
地球環境・社会・経済へのインパクト創出	<ul style="list-style-type: none"> 2050年ネットゼロの実現に向けた取組み TNFD提言に基づく開示の充実、ソリューション提供等を通じた取引先のネイチャーポジティブに向けた取組み支援 サーキュラーエコノミー、循環型農林水産業への移行に向けた支援 	サステナブル経営 P.35
農林水産業・地域の持続的な発展	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業におけるITデジタルを活用したコンサルティング機能の提供やデータビジネスの展開 既存のバリューチェーンにとらわれない新たなグローバル・バリューチェーンの構築支援 農林水産業者・食農バリューチェーン・イノベーション企業への融資・投資拡大 食料安全保障の基礎となる国内生産基盤と循環型農業の構築 	食農 P.23
デジタルとリアルの最適融合による組合員・利用者への価値創造	<ul style="list-style-type: none"> JA・JFが選ばれる金融機関となるために、デジタル機能の充実と実店舗での専門性の高いサービスの提供 JA・JFならではの金融仲介機能、総合事業性の発揮により業態の垣根を越えた連携に向けた取組み 	リテール P.27
会員への安定的な収益・機能還元の発揮	<ul style="list-style-type: none"> 国際分散投資手法の多様化による安定的な収益の確保 金利・景気変動耐性を有する貸出ポートフォリオの構築 農林中金グループ一体となった資産運用ビジネスの強化 	投資 P.31
変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現	<ul style="list-style-type: none"> 多様な思考を持った人材群による専門性の向上 ITデジタル・データ利活用への浸透を通じた新たなビジネス価値の創造と生産性向上の実現 変化にチャレンジする柔軟で強靱な組織の構築 	人材マネジメントの高度化 P.47 デジタルトランスフォーメーション P.55

Pick Up 職員の自律的なチャレンジを後押し(職員起業制度の開始)

今回策定した中期ビジョンは「未来を見据え、変化に挑む」をテーマとしており、ありたい姿の一つには「変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現」を掲げました。

当金庫はこの実現に向けて様々な取組みを進めてまいりますが、その一つとして、職員自らが新たな事業を創造してチャレンジ・成長する機会を創出するため、2024年度から「職員起業制度～Nochu Seeds～」を開始しました。

本制度では、職員の自律的なチャレンジを促すとともに、自ら事業を進めていく経験を積むことを通じた責任感や経営者目線の醸成など、人材育成に繋げていくことを主な目的としています。また、農林中金グループの既存概念や枠組みを超えたチャレンジを通じて、ステークホルダーの課題解決に資する新たなアイデア・事業が生まれることも期待しています。現時点では、職員からの自主的な事業応募のほか、ワークショップ等の開催を通じて、職員の事業アイデア発案のサポートに取り組んでいます。



新規事業のアイデア発案に向けた職員向けワークショップの様子